



特別講演

小児ぜんそく治療の歴史 （180度の大転換はどのようにしておこったのか）

西川 清（にしかわクリニック）

つい 30 年ほど前までは、心身を鍛え多少の症状は我慢をするような指導も普通でした。一部には母原病（母の育て方が原因でおこる病気）という考え方もありました。それを全く逆の、現在のような予防中心の治療方針に転換させた歴史を、その渦中にいた西川先生にお話しいただき、次世代へのバトンにさせていただこうと思います。

特別
シンポジウム

次世代へのバトン

本学会のメインテーマ「次世代へのバトン」そのものがタイトルです。温故知新、流行不易。山本会頭が学会企画案で「これを言わずに死ぬるか / 遺言特集」と書いた情熱を、このシンポジウムで各演者が力強く語ります。

特別
セッション

災害と小児医療と私たち

日常の外来小児科診療をしていると、自分たちはあまりに小さな存在で、災害のときに私たちは何ができるのかとってしまうことがあります。今回は実際の小児科医師の経験談や、災害時に備えた小児医療と行政などとの連携の準備などについても語っていただこうと思います。

それからゲストに歌手のさだまさしさんをお迎えします。

さだまさしさんはコンサート活動だけでなく、風に立つライオン基金を設立し、災害で苦しむ人を支援する活動にも力を注いでいらっしゃいます。年次集会の最後を飾る、皆さまの思い出に残る企画にしたいと思っています。ぜひご来場ください。

メインホールに入場希望の方は
予約が必要です。 **P4**
オンデマンド配信はありません。